

環境影響評価書の概要

黒部幹線建替工事

昭和61年7月

東京電力株式会社
多摩支店

1. 総 括

1.1 事業者の氏名及び住所

氏名：東京電力株式会社多摩支店 代表者 多摩支店長 吉川新吉

住所：東京都八王子市旭町13-17 電話(0426)42-5201

1.2 対象事業の名称

黒部幹線建替工事

(送電線路の変更)

1.3 対象事業の内容の概略

この事業は送電線路の電圧の変更であり、その計画の概略は表1-1に示すとおりである。

表1-1 事業計画の概要

項 目		既 設	変 更 後
電 圧		15万4千ボルト	27万5千ボルト
線 路 の 長 さ		7.13 km	7.64 km
鉄 塔	基 数	27基	27基
	平均塔高	27 m	64 m
電線地上高	平野部	8 m以上	27 m以上
	山間部	6 m以上	21 m以上

1.4 環境に及ぼす影響の評価の結論

地域の概況と事業の内容を考慮して選定した予測・評価項目について現況を調査し、対象事業の及ぼす影響について予測・評価した。その結論は、表1-2に示すとおりである。

表1-2 環境に及ぼす影響の評価の結論

予測・評価項目	評 価 の 結 論
1. 大気汚染	工事用車両による交通量の増加はわずかであるため、大気汚染の影響は少ないものと考えられる。
2. 騒音	工事用車両による交通量の増加はわずかであるため、道路交通騒音に変化を及ぼすことは少ないものと考えられる。 建設機械により発生する騒音は、防音壁を設置する等の対策を行うことにより、建設工事に伴う騒音の規制に関する基準を下回るため、影響は少ないものと考えられる。
3. 振動	工事用車両による交通量の増加はわずかであるため、道路交通振動の影響は少ないものと考えられる。 建設機械により発生する振動は、建設工事に伴う振動の規制に関する基準を下回るため、影響は少ないものと考えられる。
4. 電波障害	送電線の両側で電波障害が発生すると考えられるが、各種対策の実施により、影響は解消されるものと考えられる。
5. 陸上植物	貴重種及び重要種に該当する貴重な植物並びに貴重な植物群落は、工事区域及びその付近において確認されておらず、また各工事区域は小さくかつ散在しているため、陸上植物に与える影響は少ないものと考えられる。
6. 陸上動物	各工事区域は小さくかつ散在しているため、陸上動物に与える影響は少ないものと考えられる。貴重種に該当する貴重な陸上動物としてはオオタカが確認されたが、工事区域に比べて生息圏は広く、影響は少ないものと考えられる。また、重要種に該当する貴重な陸上動物に対しても、各種対策の実施等により影響は最小限に止められるものと考えられる。
7. 地形・地質	各工事区域は小さくかつ掘削した土の搬出処理を行うため、土地の安定性に与える影響はほとんどないものと考えられる。また、工事中の地下水の大規模な汲み上げは行わないため、不圧地下水への影響はほとんどなく、周辺の地下水利用に影響を生じることはないものと考えられる。
8. 史跡・文化財	指定文化財は各工事区域及びその付近にはないため、影響はないものと考えられる。 埋蔵文化財包蔵地は、ほとんどが工事区域外であるが、一部工事区域内にあり改変が考えられるので十分な発掘調査を実施し、記録の保存を行う。
9. 景観	一部地域では可視地域が広がり、視角が大きくなるが、既設送電線の建替であり、地域景観の特性及び代表的な眺望地点からの眺望の変化は少ないものと考えられる。

1.5 評価書案の修正の概略

評価書案の修正の概略は、表1-3に示すとおりである。

表1-3 修正の概略

修正箇所	修正の概要	
5. 現況調査・予測・評価	大気汚染	予測地域ごとの工事用車両台数及び工事期間等の補足説明を追加した。
	地形・地質	土地の安定性に関する予測結果の表現を修正した。
	景観	航空障害標識に関する記述を追加した。
7. 環境保全のための措置	大気汚染	粉じん飛散防止対策に関する記述を追加した。
	騒音	建設機械騒音の防止対策に関する記述を追加した。
	電波障害	保全のための措置の表現を修正した。
	陸上植物	緑化対策に関する記述を修正した。
	陸上動物	モリアオガエルに関する記述を削除した。
	地形・地質	土砂流出の防止対策に関する記述を修正した。